

大野市行政改革戦略会議（第2回） 会議結果の概要

令和4年3月18日（金）午後3時～4時40分
市庁舎 2階 第3会議室

出席者 大野市行政改革戦略会議委員 4名（欠席者なし）
行政経営部長、財政経営課長、財政経営課員、総務課長、総務課長補佐、総務課員

1 座長あいさつ

桑原座長あいさつ後、進行

2 議 題

（1）大野市行政改革推進プラン2021の進捗状況について

大野市行政改革推進プラン2021【別冊】について、各項目ごとの、令和3年度の進捗状況を報告

（2）大野市公共施設再編計画（案）について

大野市公共施設再編計画編（案）についての説明および、パブリックコメントの実施結果について報告

※議題についての委員からの意見は別紙のとおり

3 その他

特になし

4 閉 会

常見副座長あいさつ

別紙

【委員から出された主な意見は以下のとおりです】

議題（1）について

- ・現在、各申請手数料等の支払いがキャッシュレス可能だが、実際少額ならば現金でと言われるパターンがある。市民課や税務課ではIDカードを使用しての決裁が可能だが、他のところへ行くとなかなかできない。少し改善していただければと思う。
- ・キャッシュレス化や、各種手続きのオンライン化を進めているが、こういうものに対応できる市民は二極化している。市役所の手続きとか、公共料金の支払いばかりでなく、デジタル化に対応できる人とできない人が両極化しているの、対応できない人を取りこぼさないよう、丁寧に対応していただきたい。大野市全体をとらえると、和泉地区は、人口が数百人程度になってきているが、置き去りにしてはいけない。またプラン全体的に、進捗率が目標値に概ね沿って進んでいると思う。
- ・マイナンバーカードについて、公民館等で出張申請を受け付けたということだが、市民を待つのではなく、こちらから市民のところへ出向くこのような方法が、非常に市民としては助かると思う。
- ・ワクチンの通知が市民に届くのが遅かったので、せっかくデジタル化で議事録作成までやっているのなら、RPAのシステムで少し補えなかったのかなと思う。
- ・他の自治体との緊急時の応援体制の構築について、防災については何も無いときにこそしっかり決めておいた方がよい。災害は、急にやってきて早くに対応しないといけないため、観光、防災、ゴミでは課を跨ぐことになると思うが、縦割りの考えではいけないところである。
- ・平成大野屋との連携について、令和4年度に中小企業診断士に助言をもらいながら、効果的な物販等を実施する予定だということだが、中小企業診断士を一本釣りするのではなく、福井県中小企業診断士協会に申し入れて、そこでチームを作って対応してもらうのがよい。診断士の助言をもらうことで、また一歩進んでいくものと期待している。広告も検証を行いながら実施し、改善されている。ウェブでの取り組みに力を入れているのが非常にわかる。

議題（2）について

- ・再編の効果について、譲渡や除却と判定された公共施設について、解体のための費用がかかるので、できれば見積もり等で具体的な金額を示していただけるとわかりやすい。年間の維持費については、1億円削減できるということだが、解体費用については一時的なことなのでそこを示すと、市民もわかりやすいと思う。また、地震などの災害が頻繁に起こるので、防災上の観点や避難所機能確保の観点からも公共施設の再編を検討する、という一文を入れたのはよかった。
- ・土木行政は必ず管理を何年かごとにするようになってきている。建築については、そのような体制がない。建物は減価償却という方法をとっていないので、結局その建物にどれぐらいの寿命があるのか、仮にあったとしても財産としては価値がないこともあるので、もう少し民間ベースの考え方を取り入れてやっていくと、これほど複雑にはならなかったのではないかと。また、学校再編で学校の老朽化等が話題になったが、先んじて対処をしてきていないため、故障して直す場合に、思ったより非常にたくさんの費用がかかることになる。皆さんの理解を得て、取り壊す費用を積み立てていくこと等も取り入れていかないといけない。
- ・地図をつけたことで、見やすくなった。以前に比べると、廃止検討や見直しという文言が少し増えたと思うので、実質的に動いている感じがこちらから読み取れた。

- ・ 数値化されていたり、○・△・×で表示されており、非常にわかりやすくなった。先ほどの行政改革推進プラン2021の内容で、越美北線の年間乗客数というのがあったが、JRが減便してきており、非常に危機感を持っている。特に和泉地区にとっては大事な命綱みたいなものである。和泉地区の今後にとって、中部縦貫自動車道と併せて見過ごせないところだと思う。